福島第一原子力発電所現地確認報告書

１　確認日

令和８年９月１７日（木）

２　確認箇所

共用プール建屋（図１）

３　確認項目

２号機燃料取り出し作業の状況

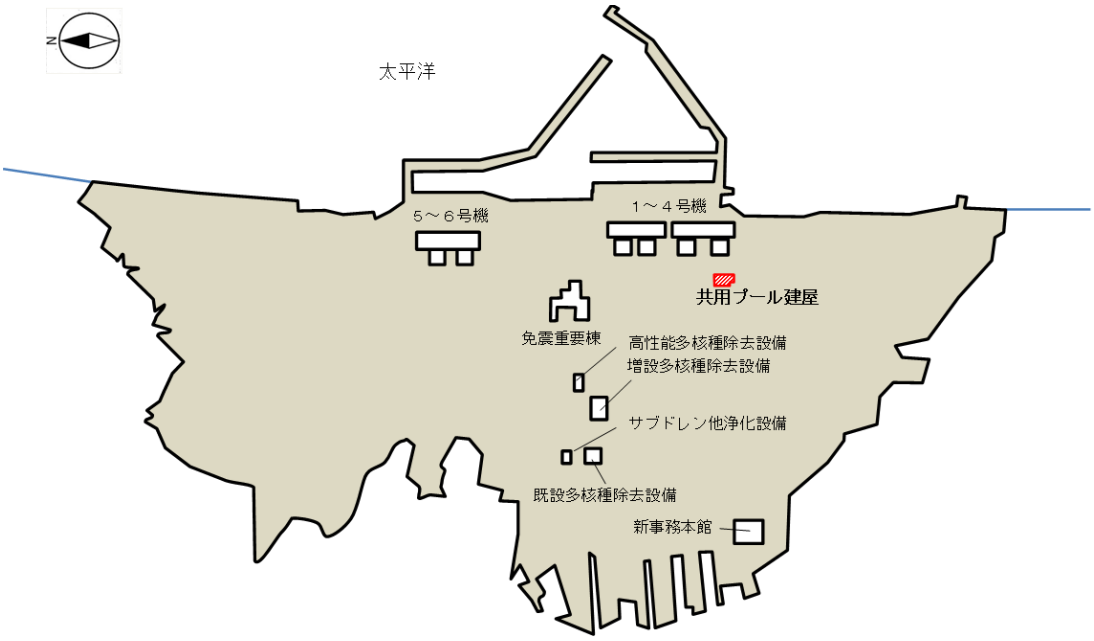
４　確認結果の概要

東京電力は、２号機使用済燃料プールに貯蔵されている６１５体の燃料について、令和１０年度中の取り出し完了を目指し、令和８年６月２日に燃料取り出し作業を開始した。

２号機使用済燃料プールから取り出した使用済燃料は、輸送容器（以下「キャスク」という。）に７体ずつ収納され、２号機原子炉建屋から共用プール建屋へ輸送される（図２：使用済燃料の輸送工程）。現在、キャスク１１基目の輸送作業が進められている。

今回、キャスク内の使用済燃料を共用プールのラックに移動する作業が行われることから、その状況を確認した（図２の08）。（前回確認：令和８年９月１６日）

・共用プール内においてキャスクの蓋を取り外し、プール脇の所定の場所に保管していた。（写真１）
・その後、キャスク内の燃料を取り出し、共用プール内の燃料貯蔵ラックへ移動する作業が行われていた。（写真２）
・一連の作業においては、作業員同士の合図による意思疎通や適切な保護具の着用など、安全対策が講じられており、作業が安全かつ着実に進められていた。



（図１）福島第一原子力発電所構内概略図



※「プール」は使用済燃料プールを指す。

（図２）使用済燃料の輸送工程



（写真１－１）取り外したキャスクの蓋を吊り上げている様子



（写真１－２）キャスクの蓋の表面の水を拭き取っている様子



（写真１－３）キャスクの蓋を保管場所に吊り下ろしている様子



（写真２）共用プール内で燃料を移送している様子

５　プラント関連パラメータ確認

各パラメータについて、異常値は確認されなかった。